

県内百貨店・主要小売店12月実績

●百貨店	売上高		客数
岐阜高島屋	▲9.7		8.2
●小売店	売上高		客数
	全店	既存店	
バロー	7.2	6.0	1.1
Vドラッグ	3.6	2.8	1.4
ホームセンターバロー	▲6.3	▲6.7	▲6.4
セリア	7.0	2.7	3.4
ヒマラヤ	▲11.1	▲10.2	▲13.4

※数字は前年同月比の増減率。▲はマイナス。Vドラッグは中部薬品など3社の合計。ホームセンターバローはホームセンターバローなど3社の合計



県内に拠点を置く百貨店・主要小売店の昨年12月売上高実績(速報値、小売店は全店売上高)は、6社中3社が前年同月を上回った。

岐阜高島屋は館内の売り上げ、客数は好調に推移しているが、グループの会計変更に伴い、前年にあったオンラインサイトでのお歳暮の売り上げがなくなり、売上高は大幅減となった。

バローは年末商戦で焼き焼きの黒毛和牛など高級食材

百貨店小売店 12月の売上高 3社が前年上回る

が好調だった。Vドラッグはインフルエンザの流行で衛生用品と風邪薬が伸び、牛乳など食品の日配品が売れた。ホームセンターは前年にあった大雪の特需がなく厳しい年末となった。

セリアは顧客の購買行動が新型コロナウイルス禍以前に戻ったとみており、11月に続いて売り上げ、客数ともに好調を維持している。

ヒマラヤは暖冬の影響で冬物アパレルが不調。スキー場の雪不足などが影響し、スキー用品も伸び悩む。一方、野球やサッカーなど一般スポーツは堅調に推移している。